



&and factory

2018年8月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2018年10月15日

上場会社名 and factory株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7035 URL https://andfactory.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小原 崇幹
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 (氏名)戸谷 光久 (TEL)03(6712)7646
 定時株主総会開催予定日 2018年11月28日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2018年11月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有(証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2018年8月期の業績(2017年9月1日~2018年8月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|-------|-------|------|------|------|------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2018年8月期 | 1,916 | 178.3 | 365 | 63.2 | 360 | 61.5 | 260 | 49.9 |
| 2017年8月期 | 688 | 181.0 | 223 | — | 223 | — | 173 | — |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|---------------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2018年8月期 | 61.88 | — | 80.7 | 37.7 | 19.1 |
| 2017年8月期 | 41.30 | — | 164.7 | 57.5 | 32.5 |

(参考) 持分法投資損益 2018年8月期 —百万円 2017年8月期 —百万円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

2. 当社は、2018年6月5日付で、普通株式1株につき40株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益金額を算定しております。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-------|-----|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2018年8月期 | 1,322 | 453 | 34.3 | 107.60 |
| 2017年8月期 | 593 | 192 | 32.4 | 45.72 |

(参考) 自己資本 2018年8月期 453百万円 2017年8月期 192百万円

(注) 当社は、2018年6月5日付で、普通株式1株につき40株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益金額を算定しております。

(3) キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2018年8月期 | 515 | △131 | 115 | 672 |
| 2017年8月期 | 45 | △93 | 129 | 172 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 | 純資産 配当率 |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|---------------|------|------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | | | |
| 2017年8月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |
| 2018年8月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |
| 2019年8月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |

3. 2019年8月期の業績予想(2018年9月1日~2019年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----|-------|------|------|------|------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通 期 | 3,070 | 60.2 | 511 | 40.0 | 504 | 39.7 | 350 | 34.3 | 75.42 |

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | | |
|----------------------|---|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : | 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : | 無 |
| ④ 修正再表示 | : | 無 |

(2) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2018年8月期 | 4,210,520株 | 2017年8月期 | 4,210,520株 |
| ② 期末自己株式数 | 2018年8月期 | －株 | 2017年8月期 | －株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2018年8月期 | 4,210,520株 | 2017年8月期 | 4,210,520株 |

(注) 当社は、2018年6月5日付で普通株式1株につき40株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2018年10月16日（火）に機関投資家及びアナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|-----------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 3 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 貸借対照表 | 5 |
| (2) 損益計算書 | 7 |
| (3) 株主資本等変動計算書 | 8 |
| (4) キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (5) 財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (持分法損益等) | 10 |
| (セグメント情報) | 10 |
| (1株当たり情報) | 13 |
| (重要な後発事象) | 13 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、企業収益や雇用情勢の改善が続くなかで、緩やかな回復基調が継続しました。米国では6月に利上げが実施され、景気は着実に回復が続いており、アジア地域については、景気は持ち直しの動きはみられるものの、中国を始めとするアジア新興国等の政策に関する不確実性による影響等もあり、先行き不透明な状況となっております。

当社の主要な事業領域である国内スマートフォン向けアプリ市場は、総務省の「平成29年通信利用動向調査」(2018年5月公表)によれば、スマートフォンの個人保有率が2017年には75.1% (前年比3.3ポイント増) となり、普及速度の鈍化がみられるものの、20代～30代の保有率は90%を超え高水準に浸透していることを背景として、国内有数の市場規模を有しております。国内スマートフォン向けゲーム市場については、株式会社矢野経済研究所の「スマホゲームの市場動向と将来性分析2018」によると、2018年度の市場規模が前年度比101.6%の9,600億円に達し、安定成長を続けることが予想されております。

電子書籍市場については、インプレス総合研究所の「電子書籍ビジネス調査報告書2018」によれば、2017年度の電子書籍市場規模は2,241億円で、前年度の1,976億円から13.4%増加し、そのうち82%にあたる1,845億円をコミックが占めております。2022年度には2017年度の約1.4倍の3,150億円に拡大すると予想されています。

また当社が注力するIoT事業は、コンピュータなどの情報・通信機器だけではなく、世の中に存在する様々なモノに通信機能を持たせ、インターネットへの接続や相互に通信させる分野として注目を集めております。インターネット技術や各種センサー・テクノロジーの進化等を背景に、インターネットにつながるモノ(IoTデバイス)の数は、2017年の約274億個から2020年にはその約1.5倍の403億個まで増加すると予測されております(総務省「平成30年版情報通信白書」)。

このような経営環境の中、当社は、Smartphone APP事業において、他社が運営する人気スマートフォンゲームアプリの攻略及びマルチプレイのパートナーを募集する掲示板アプリ「最強シリーズ」及び大手出版社と共同開発したスマートフォン向けのマンガアプリの収益拡大に注力してまいりました。IoT事業においては、スマートホテル「&AND HOSTEL」の outlet に注力するとともに、宿泊施設向けのIoTソリューションサービスの提供を展開してまいりました。

以上の結果、当事業年度における売上高は1,916,130千円(前年同期比178.3%増)、営業利益365,198千円(前年同期比63.2%増)、経常利益360,790千円(前年同期比61.5%増)、当期純利益260,563千円(前年同期比49.9%増)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

① Smartphone APP事業

当事業年度において、株式会社スクウェア・エニックスと共同開発したマンガアプリ「マンガUP!」、株式会社白泉社と共同開発したマンガアプリ「マンガPark」は、積極的な広告宣伝の実施、新規連載開始等によるMAU(注1)の増加、人気コンテンツの掲載延長、作品追加等でのARPU(注2)の向上によって、前事業年度よりサービス提供を開始して以降、好調に推移しております。「最強シリーズ」においては、継続的なUI等の改善、安定した収益獲得のための広告サービスの提供に注力し、パートナー企業との協業を強化した結果、売上は堅調に推移いたしました。

この結果、当事業年度におけるSmartphone APP事業の売上高は1,099,214千円(前年同期比82.0%増)、セグメント利益は479,644千円(前年同期比21.7%増)となりました。

(注) 1. Monthly Active Userの略称であり、1ヶ月に一度でもアプリを利用したユーザーの数を指します。

2. Average Revenue Per Userの略称であり、ユーザー一人当たりの収益単価であります。

② IoT事業

当事業年度において、当社が注力するIoT体験型宿泊施設であるスマートホテル「&AND HOSTEL」の企画、開発が好調に進んだことで、ホテル開発に係るコンサルティングや不動産の仲介等の売上が順調に推移いたしました。また、自社開発型の「&AND HOSTEL」1店舗(&AND HOSTEL ASAKUSA STATION)の販売を行ったため、当社

の収益に大きく貢献いたしました。

この結果、当第事業年度におけるIoT事業の売上高は799,887千円（前年同期比1,179.5%増）、セグメント利益は142,262千円（前年同期は29,936千円のセグメント損失）となりました。

③ その他事業

当事業年度は、インターネット広告の代理サービス及び記事制作サービスを中心に事業を行った結果、その他事業の売上高は17,027千円（前年同期比22.8%減）、セグメント利益は721千円（前年同期は1,229千円のセグメント損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における総資産は1,322,668千円となり、前事業年度末に比べ729,075千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が500,277千円、売掛金が173,075千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当事業年度末における負債合計は869,608千円となり、前事業年度末に比べ468,511千円増加いたしました。これは主に長期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）が115,714千円、未払金が184,268千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産は453,060千円となり、前事業年度末に比べ260,563千円増加いたしました。これは当期純利益の計上により利益剰余金が260,563千円増加したことによるものであります。

なお、自己資本比率は34.3%（前事業年度末は32.4%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。))は、前事業年度末に比べて500,277千円増加し、672,495千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における営業活動の結果、得られた資金は、515,922千円（前事業年度は45,788千円の収入）となりました。これは、主に、税引前当期純利益の計上357,100千円、未払金の増加額204,443千円及びたな卸資産の減少額91,525千円があった一方で、売上債権の増加額△173,075千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における投資活動の結果、使用した資金は、131,358千円（前事業年度は93,811千円の支出）となりました。これは、主に、有形固定資産の取得による支出67,087千円、敷金及び保証金の差入による支出33,657千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における財務活動の結果、得られた資金は、115,714千円（前事業年度は129,780千円の収入）となりました。これは主に、長期借入れによる収入334,000千円があった一方で、長期借入金の返済による支出218,286千円があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

当社が提供するSmartphone APP事業及びIoT事業は、技術革新のスピードが早く、また、市場の成長を見込んだ新規参入企業の増加により、市場環境の変化が激しくなっております。

当社が今後さらに業容を拡大し、成長と発展を遂げるために、当社の経営陣は、変化の激しい環境の中で様々な課題に対処していく必要があることを認識し、今後も価値の高いサービスの展開と成長への投資を積極的に行い、『成長性と収益性の両立』を継続することで企業価値の最大化を図ってまいります。

2019年8月期におけるSmartphone APP事業におきましては、既存のマンガアプリの成長のみならず、新規マンガアプリの複数リリースを見込んでおります。また、当社が保有しているマンガアプリのMAUを活用し、マンガに特化したアドネットワーク事業『COMIAD（コミアド）』のサービス開始による収益の拡大を見込んでおります。

IoT事業におきましては、宿泊領域のテクノロジー化推進のため、宿泊予約管理システム『innto』、客室タブレット『tabii』への積極的な投資を行い、サービスの拡充による収益の拡大を図ってまいります。また、パートナー企業との連携を強化し、宿泊領域だけではなく、住宅領域などへ領域拡大を図ってまいります。

以上から、2019年8月期の業績予想といたしましては、売上高3,070,000千円（対前期比60.2%増）、営業利益511,300千円（対前期比40.0%増）、経常利益504,000千円（対前期比39.7%）、当期純利益350,000千円（対前期比34.3%）を見込んでおります。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性を考慮し、当面は日本基準で財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2017年8月31日) | 当事業年度 (2018年8月31日) |
|-------------|-----------------------|-----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 172,217 | 672,495 |
| 売掛金 | 129,177 | 302,252 |
| 仕掛品 | 17 | 15,987 |
| 仕掛販売用不動産 | 107,495 | — |
| 前払費用 | 12,156 | 13,793 |
| 立替金 | 41,592 | 86,034 |
| 繰延税金資産 | 7,805 | 22,135 |
| その他 | 10,096 | 14,330 |
| 貸倒引当金 | △350 | △567 |
| 流動資産合計 | 480,209 | 1,126,461 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 38,803 | 62,293 |
| 工具、器具及び備品 | 15,986 | 27,968 |
| 減価償却累計額 | △6,870 | △16,103 |
| 有形固定資産合計 | 47,919 | 74,158 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 31,990 | 30,810 |
| ソフトウェア仮勘定 | — | 10,370 |
| 無形固定資産合計 | 31,990 | 41,181 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,009 | 10,969 |
| 繰延税金資産 | 7,996 | 13,358 |
| その他 | 24,468 | 56,539 |
| 投資その他の資産合計 | 33,474 | 80,866 |
| 固定資産合計 | 113,384 | 196,206 |
| 資産合計 | 593,593 | 1,322,668 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2017年8月31日) | 当事業年度 (2018年8月31日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 12,577 | 62,590 |
| 短期借入金 | 65,000 | 65,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 31,956 | 70,896 |
| 未払金 | 100,679 | 284,947 |
| 未払法人税等 | 39,366 | 91,247 |
| 賞与引当金 | 9,494 | 24,078 |
| 役員賞与引当金 | — | 15,621 |
| その他 | 2,430 | 38,859 |
| 流動負債合計 | 261,504 | 653,242 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 139,592 | 216,366 |
| 固定負債合計 | 139,592 | 216,366 |
| 負債合計 | 401,096 | 869,608 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 34,420 | 34,420 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 33,420 | 33,420 |
| 資本剰余金合計 | 33,420 | 33,420 |
| 利益剰余金 | | |
| その他利益剰余金 | | |
| 繰越利益剰余金 | 124,656 | 385,220 |
| 利益剰余金合計 | 124,656 | 385,220 |
| 株主資本合計 | 192,496 | 453,060 |
| 純資産合計 | 192,496 | 453,060 |
| 負債純資産合計 | 593,593 | 1,322,668 |

(2) 損益計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 2016年9月1日 至 2017年8月31日) | 当事業年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 688,612 | 1,916,130 |
| 売上原価 | 182,446 | 802,628 |
| 売上総利益 | 506,165 | 1,113,501 |
| 販売費及び一般管理費 | 282,419 | 748,302 |
| 営業利益 | 223,746 | 365,198 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1 | 3 |
| 受取手数料 | 1,300 | — |
| 業務受託料 | 2,480 | — |
| 固定資産受贈益 | 900 | — |
| 還付金収入 | — | 221 |
| 補助金収入 | — | 1,570 |
| その他 | 125 | 107 |
| 営業外収益合計 | 4,806 | 1,902 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,463 | 5,579 |
| 賃借料 | 3,375 | — |
| 支払保証料 | 313 | 714 |
| その他 | 8 | 16 |
| 営業外費用合計 | 5,159 | 6,310 |
| 経常利益 | 223,393 | 360,790 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | — | 3,689 |
| 抱合せ株式消滅差損 | 15,610 | — |
| 特別損失合計 | 15,610 | 3,689 |
| 税引前当期純利益 | 207,783 | 357,100 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 49,703 | 116,229 |
| 法人税等調整額 | △15,801 | △19,691 |
| 法人税等合計 | 33,901 | 96,537 |
| 当期純利益 | 173,882 | 260,563 |

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2016年9月1日 至 2017年8月31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | | | 純資産合計 |
|---------|--------|--------|---------|---------------------|---------|---------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益剰余金 | | 株主資本合計 | |
| | | 資本準備金 | 資本剰余金合計 | その他利益剰余金 繰越利益剰余金 | 利益剰余金合計 | | |
| 当期首残高 | 34,420 | 33,420 | 33,420 | △49,225 | △49,225 | 18,614 | 18,614 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 当期純利益 | | | | 173,882 | 173,882 | 173,882 | 173,882 |
| 当期変動額合計 | — | — | — | 173,882 | 173,882 | 173,882 | 173,882 |
| 当期末残高 | 34,420 | 33,420 | 33,420 | 124,656 | 124,656 | 192,496 | 192,496 |

当事業年度(自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | | | 純資産合計 |
|---------|--------|--------|---------|---------------------|---------|---------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益剰余金 | | 株主資本合計 | |
| | | 資本準備金 | 資本剰余金合計 | その他利益剰余金 繰越利益剰余金 | 利益剰余金合計 | | |
| 当期首残高 | 34,420 | 33,420 | 33,420 | 124,656 | 124,656 | 192,496 | 192,496 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 当期純利益 | | | | 260,563 | 260,563 | 260,563 | 260,563 |
| 当期変動額合計 | — | — | — | 260,563 | 260,563 | 260,563 | 260,563 |
| 当期末残高 | 34,420 | 33,420 | 33,420 | 385,220 | 385,220 | 453,060 | 453,060 |

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 2016年9月1日 至 2017年8月31日) | 当事業年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日) |
|---------------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前当期純利益 | 207,783 | 357,100 |
| 減価償却費 | 19,761 | 31,624 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △133 | 216 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 8,637 | 14,584 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | — | 15,621 |
| 受取利息 | △1 | △3 |
| 固定資産受贈益 | △900 | — |
| 支払利息 | 1,463 | 5,579 |
| 減損損失 | — | 3,689 |
| 抱合せ株式消滅差損益 (△は益) | 15,610 | — |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △38,211 | △173,075 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △107,512 | 91,525 |
| 前払費用の増減額 (△は増加) | △5,865 | △1,665 |
| 立替金の増減額 (△は増加) | △38,333 | △44,442 |
| 未収入金の増減額 (△は増加) | 9,020 | △8,279 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △1,521 | 50,012 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | 10,745 | 204,443 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △6,444 | 28,902 |
| その他 | △8,585 | 9,981 |
| 小計 | 65,511 | 585,817 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1 | 3 |
| 利息の支払額 | △1,959 | △5,551 |
| 法人税等の支払額 | △17,763 | △64,347 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 45,788 | 515,922 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △60,121 | △67,087 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △33,672 | △22,217 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △3,200 | △33,657 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 6,691 | 2,600 |
| 投資有価証券の取得による支出 | — | △9,960 |
| その他 | △3,508 | △1,036 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △93,811 | △131,358 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入れによる収入 | 160,000 | 334,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △30,220 | △218,286 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 129,780 | 115,714 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 81,757 | 500,277 |
| 連結子会社の合併による現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 38,982 | — |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 51,477 | 172,217 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 172,217 | 672,495 |

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

各報告セグメントは、それぞれ特徴の異なる商品を取り扱っており、収益・財務構造及び営業戦略が異なることから、それぞれ独立した報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

Smartphone APP事業は、主に、スマートフォンアプリの開発及びリリース、また、アプリ内のモバイル広告枠の販売を行っております。

IoT事業は、主に、スマートホステル「&AND HOSTEL」の企画及び開発、IoTサービスの提供等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前事業年度(自 2016年9月1日 至 2017年8月31日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) | 合計 |
|------------------------|----------------------|---------|---------|------------|---------|
| | Smartphone APP 事業 | IoT事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 604,031 | 62,513 | 666,545 | 22,066 | 688,612 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 604,031 | 62,513 | 666,545 | 22,066 | 688,612 |
| セグメント利益又は損失(△) | 394,003 | △29,936 | 364,067 | △1,229 | 362,837 |
| セグメント資産 | 199,574 | 139,990 | 339,564 | 2,758 | 342,323 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 9,602 | 4,325 | 13,928 | 312 | 14,241 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 36,421 | 12,253 | 48,675 | — | 48,675 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にインターネット広告代理事業であります。

当事業年度(自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) | 合計 |
|------------------------|----------------------|---------|-----------|------------|-----------|
| | Smartphone APP 事業 | IoT事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,099,214 | 799,887 | 1,889,102 | 17,027 | 1,916,130 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 1,099,214 | 799,887 | 1,889,102 | 17,027 | 1,916,130 |
| セグメント利益 | 479,644 | 142,262 | 621,907 | 721 | 622,628 |
| セグメント資産 | 407,441 | 63,070 | 470,511 | 1,339 | 471,850 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 16,025 | 8,505 | 24,530 | — | 24,530 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 17,219 | 13,372 | 30,591 | — | 30,591 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にインターネット広告代理事業であります。

4 報告セグメント合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 売上高 | 前事業年度 | 当事業年度 |
|--------------|---------|-----------|
| 報告セグメント計 | 666,545 | 1,889,102 |
| 「その他」の区分の売上高 | 22,066 | 17,027 |
| 財務諸表の売上高 | 688,612 | 1,916,130 |

(単位：千円)

| 利益 | 前事業年度 | 当事業年度 |
|-------------------|----------|----------|
| 報告セグメント計 | 364,067 | 621,907 |
| 「その他」の区分の利益(△は損失) | △1,229 | 721 |
| 全社費用(注) | △139,091 | △257,430 |
| 財務諸表の営業利益 | 223,746 | 365,198 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位：千円)

| 資産 | 前事業年度 | 当事業年度 |
|-------------|---------|-----------|
| 報告セグメント計 | 339,564 | 470,511 |
| 「その他」の区分の資産 | 2,758 | 1,339 |
| 全社資産(注) | 251,270 | 850,818 |
| 財務諸表の資産合計 | 593,593 | 1,322,668 |

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金等であります。

(単位：千円)

| その他の項目 | 報告セグメント計 | | その他 | | 調整額 | | 財務諸表計上額 | |
|--------------------|----------|--------|-------|-------|--------|--------|---------|--------|
| | 前事業年度 | 当事業年度 | 前事業年度 | 当事業年度 | 前事業年度 | 当事業年度 | 前事業年度 | 当事業年度 |
| 減価償却費 | 13,928 | 24,530 | 312 | — | 5,520 | 7,093 | 19,761 | 31,624 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 48,675 | 30,591 | — | — | 48,507 | 38,537 | 97,182 | 69,129 |

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない本社建物の取得価額であります。

(1株当たり情報)

| | 前事業年度 (自 2016年9月1日 至 2017年8月31日) | 当事業年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日) |
|--------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 45.72円 | 107.60円 |
| 1株当たり当期純利益金額 | 41.30円 | 61.88円 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため期中平均株価を把握できませんので記載しておりません。

2. 2018年5月15日開催の取締役会決議により、2018年6月5日付で普通株式1株につき40株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額を算定しております。

3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前事業年度 (自 2016年9月1日 至 2017年8月31日) | 当事業年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日) |
|---|--|--|
| 当期純利益(千円) | 173,882 | 260,563 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る当期純利益(千円) | 173,882 | 260,563 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 4,210,520 | 4,210,520 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要 | 新株予約権3種類 (新株予約権7,224個) | 新株予約権3種類 (新株予約権7,224個) |

(重要な後発事象)

(公募による新株式の発行)

当社は、株式会社東京証券取引所より上場承認を受け、2018年9月6日に同取引所マザーズ市場に株式を上場いたしました。この株式上場にあたり、2018年7月30日及び2018年8月17日開催の取締役会において、新株式の発行を決議いたしました。また、2018年9月5日に払込を受けており、発行済株式総数、資本金及び資本準備金の額が増加しております。概要は以下のとおりであります。

| | |
|-------------------|--|
| ①募集株式の種類及び数 | 当社普通株式 430,000株 |
| ②発行価格 | 1株につき2,570円 |
| ③引受価額 | 1株につき2,364.40円 この株価は当社が引受人より1株当たりの新株式の払込金として受け取った金額であります。なお、発行価格と引受価額の差額は、引受人の手取金となります。 |
| ④発行価格の総額 | 1,105,100千円 |
| ⑤引受価額の総額 | 1,016,692千円 |
| ⑥増加した資本金及び資本準備金の額 | 増加した資本金の額 508,346千円 増加した資本準備金の額 508,346千円 |
| ⑦払込期日 | 2018年9月5日 |
| ⑧資金の使途 | マンガアプリのユーザー獲得のための広告宣伝費、事業規模拡大のために必要な人員に係る採用費、人件費及び借入金の返済に充当する予定であります。 |